

日中同形異義語の喚情価値の差異について：日本語がプラス、中国語がマイナスのイメージを持つ同形語

張, 潔卉
九州大学大学院地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻

<https://doi.org/10.15017/1854976>

出版情報：地球社会統合科学研究. 7, pp.81-88, 2017-09-25. 九州大学大学院地球社会統合科学府
バージョン：
権利関係：

日中同形異義語の喚情価値の差異について

—日本語がプラス、中国語がマイナスのイメージを持つ同形語

チョウ 張 ケツ キ 潔 卉

0. はじめに

日中同形語において「喚情価値」というのはそれらの語の感情的なイメージのことを指す。この用語は大河内康憲(1992)の「日本語と中国語の同形語」という論文において初めて使われ、その後多くの研究者に引用されている。ほかにも語の感情的なイメージのことを「感情的価値」(Erdmann 1922)、「感情的ニュアンス」(池上嘉彦1975)、「感情的意味」(emotive meaning) (Ullmann 1962)とも呼ばれているが、本稿では「喚情価値」という用語を使うことにする。

「喚情価値」とは語意の中に含まれる主体が客観的对象に対する感情的な傾向、態度、評価などの内容であり、語彙論上通常に「褒め言葉」、「貶し言葉」(中国語では前者のことを「褒义词」といい、後者のことを「贬义词」という)とされる語がそれを持つ典型例であるが、そのほかに、恐怖や喜び、苦痛、悲しみなどの感情を含む語彙も喚情価値を持つ語彙の範疇に属すると主張する研究者もいる。

日中同形語の意味の相違については従来注目され、論文などの研究成果もたくさんある。しかし、日中同形語の喚情価値の差についての研究はまだ少ない。「日中同形語の学習過程において、中国人日本語学習者は語の持つ異なるイメージによる誤用がある。」と張・谷守(2013)が指摘した。これは日中同形語の意味だけではなく、喚情価値についての研究も必要不可欠であることを示している。

文化庁(1978)により、日中同形語は「S (same)」-日中両国語における意味が同じ、または極めて近いもの、「O (overlap)」-日中両国語における意味が一部重なっているが、両者の間にずれのあるもの、「D (different)」-日中両国語における意味が著しく異なるもの、「N (none)」-日本語の漢語と同じ漢字語が中国語に存在しないものという四種類に分けられる。本稿では「D (different)」を研究の対象とし、日本語においてはプラス、中国語においてはマイナスのイメージを持つ日中同形語の典型的な例についていくつかを取り上げ、分析することにする。

1. 分析方法

喚情価値の差異を分析するためには、まず、語の意味を正確に把握し、その上で、実際にその語が使われる例文を大量に分析し、話し手の意図を掴み、その語のイメージを捕らえることが必要不可欠である。そのために、まず、日中それぞれ三冊の辞書での解釈を集め、意味項目ごとに分析し、まとめる。次に、それぞれのコーパスで例文を収集し、各意味層と照らし合わせ、語の喚情価値を見出すことにする。

本稿の分析で使用された辞書は日本語では「新明解国語辞典」、「明鏡国語辞典」、「日本語大辞典」の三冊であり、中国語では《中华大辞林》、《现代汉语规范用法大词典》、《现代汉语辞海》の三冊である。使用されたコーパスは日本語では「現代日本語書き言葉均衡コーパス」であり、中国語では《北京大学中国语言研究中心语料库(CCL)》である。コーパスの例文が1000例以上ある場合は合計400例以上のサンプルを無作為に抽出し、分析することにする。

2. 形容の対象の違いによる喚情価値の差異

同じ語がその形容する対象により、喚情価値が異なる現象は珍しくない。その形容する対象が人であるか、物であるか、事であるか、さらに細分化すると、人の気持ちであるか、人間関係であるかなどによって、語の意味は言うまでもなく、喚情価値も違ってくる場合がある。日中同形語においても同様であり、以下、日中同形語の形容する対象が異なり、喚情価値もそれによって異なる例をいくつか取り上げ、分析を行う。

2. 1 円滑

「円滑」がその典型的な例の一つである。

「円滑」の日中両言語における意味の違いについて、金若静(1987)が「同じ漢字でも之だけ違う - 日本語と中国語」の中で、日本語では「物事が滞らず、すらすらと進むこと、順調なことを『円滑』という、これに対し

て中国語の“圓滑”は(人の言動に)角がない、あたりがやわらかくて無責任である。八方美人の意で、やや貶すニュアンスがある。」と指摘している。

前述の日本語の辞書での解釈を比較し、まとめた結果、「円滑」は日本語辞書においての意味は主に「物事が順調に進むこと」である。コーパスでの2168の例文もほとんどこの意味で使われており、以下3例を挙げる。

1. 我が国の国際商事取引の円滑な発展を図るためには貿易クレームの迅速な処理及びその未然防止が極めて重要である。
2. 優秀な後輩の上に凡庸な先輩が立つこともありうるが、このような場合にも仕事が円滑に進められるのはなぜだろうか。
3. 夫婦の子育ての役割分担に対する意見の食い違いが家族関係を円滑にできなくしていることにも気づいた。

例文で示したとおり、「円滑」で形容される対象は「取引」、「仕事」、「関係」などの物事、であり、その進行が滑らかでスムーズである状態を表し、プラスのイメージを持つことが明確である。

これに対し、中国語の“圓滑”のイメージは大分異なる。中国語の辞書において“圓滑”の意味は主に1. 声が滑らかであること、2. 体が太く、豊満であること、3. 人柄や処世の態度について、他人を取り入ろうとばかりして責任をとろうとしない、という3つの項目にまとめられる。

コーパスにおいて、“圓滑”が使用された335の例文において、声、曲線、形などが丸く、滑らかである様子を形容するものが84例あり、197例は3の意味「人柄や処世の態度について、他人を取り入ろうとばかりして責任をとろうとしない」であり、残りの48例も人柄を形容する用法であるが、処世術を知って、上手く立ち回れるという意味を表している。優勢の3の意味で最初に使われるのは馬烽西戎の《吕梁英雄伝》の第六二回に“吳士舉 做事圓滑，善于籠絡人心。”という説がある。3の意味の用例について、以下3例を挙げる。

4. “这都是一些相当中庸、圆滑的人，他们自己也随时准备同流合污，看时机去捞一把，指望他们能做什么呢？”（「これらは皆中庸で、抜け目のない輩ばかりで、奴ら自身もいつでも悪党と手を組み、機を見て一儲けをするつもりでいる。こんな連中に何を期待するのか？」）
5. 劇中还写了一个机电局肖局长，入木三分地刻画了一个典型的老子世故、圆滑处世的官僚主义者。（劇中の登場人物としてもう一人、機電局の肖局長の描写があり、彼は典型的な如才のなく、八方美人の官

僚主義者として生き生きと描かれている。）

6. 比如，一个时期以来，在一些部门和单位，自由主义的庸俗空气滋长蔓延，…坚持原则的少了，圆滑世故的多了…（例えば、ある時期以来、いくつかの機関や部門において、自由主義の低俗の空気が蔓延し、…原則を守る人が少なくなり、八方美人が多くなった…）

以上の例文から見ると、中国語の“圓滑”は、人の人柄、処世態度について、批判の意を表す場合が多く、マイナスのイメージが強いと言えよう。

このように、日本語の「円滑」の形容する対象は主に「物事」であり、プラスのイメージを持つのに対し、中国語の“圓滑”の形容する対象は「声、曲線、形」、すなわち「物」である場合は中立的なイメージを持ち、「人柄、性格」である場合はマイナスのイメージを持つ。

2. 2 高調

「円滑」ほど明らかではないが、「高調」も形容する対象により、喚情価値が異なる例の一つである。「高調」の日本語の辞書での意味をまとめると、主に1. 音の調子が高いこと、2. 強調すること、3. 気分や調子が高まること、という3つになる。

しかし、コーパスを検索した結果、1の意味として使われている例はほとんどない。また、音波や震動波の波形を表すのに使用される場合が意外に多い。それはどれも物理現象を表現する中立的なイメージを持つ。

コーパスにおいて、高調に関する112の例文のうち、2の意味で使われる用例は5つある。この意味で用いられた「高調」も特によい事や悪いことを強調するというのではなく、中立的なイメージを持っている。それに対し3の意味に関する文は7つあり、1例を挙げる。

7. タブの中に腰をおろし、…気分が高調してきたところでフックを取り上げ、前後を揺らしながら股間を温めるのである。

以上の例文で見て取れるように、この意味で使われた「高調」は人の気持ちを形容し、プラスのイメージを持つと言っていいだろう。

それに対し、中国語の“高调”の辞書における意味は1. 音の調子が高いこと、2. 実際の状況からかけ離れた議論、口だけのきれいごと、という2つに絞ることができる。それに対し、コーパスの検索結果では452例のうち、「楽器の音や歌声」を形容するものが7例、「上品な品格や格調」という意味で使われる用例は5例、ほかに「撮影技術や演劇の手法の一つ」などの固有名詞として用いられるのが26例、そして167例が「2. 実際の状況からかけ離れ、実行を伴わない議論、口だけのきれいごと」、

という意味で使われている。3例を挙げる。

10. 道光的上諭和林則徐的回答都是士大夫阶级传统的高调和空谈。(道光の上諭も林則徐の回答も士大夫階級の伝統の口だけのきれいごとや空論に過ぎない。)
11. 堂姐认为, 敢情站着说话不腰疼, 脱离了实际的空话高调有什么用? (口先だけなら何とでも言える、実際とかけ離れた机上の空論や口だけのきれいごとは何の役に立つかとお姉さんは思った)
12. …唱唱国民会议的高调, 中听倒还中听, 只怕一百年也开不成。(…国民会議などのきれいごとばかり言って、聞こえはいいが、おそらく百年かかっても開けないだろう。)

“高调”はもともとは音の調子を形容する語であり、口だけのきれいごとを調子の高い音に比喻する用法は《文選・馬融》の中での“若絙瑟促柱, 号钟高调。”から来ている。今はこの比喻が完全に「高调」の基本義の1つになって、主要な用法になっている。“高调”の前に“唱”という動詞を加えて、「口だけのきれいごとを言う」という慣用的な用法もある。言うまでもなく、この意味で使用される場合も同様にマイナスのイメージを持つ。前述の辞書には載っていないが、コーパスでは188の例文に使用されている“高调”はもう一つの意味があることが明らかである。これは「積極的(時には強引)な態度を取る、大々的にアピールする」という意味であり、近年徐々に主流的になり、プラスの意味でもマイナスの意味でも使われる。

日本語の「高调」は「強調すること」の意味として使われる場合は中立的なイメージを持ち、「気分や調子」を形容の対象とする場合は時にプラスのイメージを持つのに対し、中国語“高调”は「音」「撮影技術や演劇の手法」を形容する場合は中立的なイメージを持ち、「人の言論、態度、性格」を形容する場合はマイナスのイメージを持つことがある。

3. ニュアンスの偏りによる喚情価値の差異

同じ言語において類義語や反義語におけるニュアンスの違いがあるのと同様、異なる言語においても類似な現象はある。日中両言語における同形語について、使用されるニュアンスの違いが喚情価値に影響を及ぼすこともある。

3. 1 自負

この現象の代表的な例として、「自負」がある。日本語の辞書での解釈では、「自負」の意味は主に「自分の

能力、学問、仕事などに対する自信、誇りである」とまとめることができる。

コーパスにおける435の例文においては辞書での意味「自信」「誇り」よりも感情的に強いイメージが伝えている。以下3例をあげる。

13. …自分の実力だけでゼロから現在の地位を築き上げたたけしの自負を物語っています。
14. …何よりも、…我々の専門職業人としての自負心と名誉を傷つけるものだからです。
15. その中でも、「光州のキムチが一番」という自負は強い。

以上の例文より「自負」の対象が自分の築き上げた地位にせよ、自分の職業にせよ、地方の名産品にせよ、ただの「自信」より、誇りやプライド、自尊心などの強い感情を表していることが明確である。それも皮肉や反語ではなく、直接的に誇らしさが伝わり、プラスのイメージがはっきり出ている。

それに対し、中国語の“自負”は辞書の意味でもはっきりとその逆の感情的なイメージが見える。簡単に整理すると、中国語の“自負”の辞書での意味は主に1. 自分のことを買いかぶって、うぬぼれる、2. 自分で(責任などを)負う、という二つである。

コーパスの中での3578の例文を400例取り出し、分析した結果も大体この二つの意味に集中している。前者の意味に関し、《史记・李将军列传》において“李广才气, 天下无双, 自负其能。”という文があり、自信過剰という意味で使われているのが明白である。コーパスにおいてこの意味で使われた例文は115例あり、3例を挙げる。

16. 我认为那样一个侮辱是足以使一个狭隘自负的人怀恨在心的。(あのような侮辱は心が狭く、驕り高ぶっている人の心に恨みを持たせるには十分だと私は思う。)
17. 虽早有婚娶之念, 然心念高远, 故仍为独身, 闲来总觉孤苦。然他甚为自负, 常村以自己地位才貌, 何患心愿难遂。(結婚の意は昔からあったが、望みが高いゆえまだ独身であり、暇な時に、よく孤独を感じている。しかし、彼はとても傲慢で、自分の地位や才能、外見を考えて、望みが叶わないのを恐れることはないと思った。)
18. …随时都流露出自命不凡的神情, 不过他竭力想把自己的自负隐藏起来。(…時折自分が非凡であるという傲慢さが表情に出てしまうが、彼はできるだけ自分の驕りを隠そうとしていた。)

例文の中で、中国語の“自負”が形容詞で使用される場合、「自信」や「自慢」よりも、「傲慢」や「驕り」のほうに偏りが生じ、“自負”の対象を批判する感情が明

確となり、マイナスのイメージがはっきりしている。

もう一つの意味、「自分で責任を負う」、についての例文は278あり、“自(己)負(責)”の略語と見なされ、特にマイナスのイメージは持っていない。

もし、「自信」という語が持つイメージを中立的な標準とすれば、日本語の「自負」の持つイメージはそれよりプラスのほうの「誇り」や「プライド」に近く、一方、中国語の“自負”のイメージはそれよりマイナスのほうの「傲慢」、「うぬぼれ」に近いと言えよう。同じ自分に対する評価であっても、日中両言語における「自負」の使われるニュアンスの違いが大きな喚情価値の差異を生じさせていると言えよう。

3. 2 技倆

「技倆」もその一例である。日本語の「ぎりょう」という語は「技量」、「技倆」、「伎倆」とも書く。その日本語辞書における意味は主に、「手腕」、「腕前」という意味で使われている。

コーパスでの277の例文も大体その用法で使われている。以下3例を挙げる。

19. そう、わが夫であったお人は、すぐれた技量をおもちであった…
20. 敵国の人質という身分は承知していても、兵は技量ある男を讃えるものだ。
21. 特別な技量を持つ身分の高い武士でなければ、戦場に騎馬で加わるのは許されない。

このように、日本語の「技量」は中立的な「技術」、「能力」よりも「本領」、「腕前」という、より積極的な方向に意味が偏っていると考えられ、プラスのイメージを持つことを示唆する。例文によっては人の腕前を褒めるという話し手の評価がはっきりと見られない文もあるが、その腕前を貶したり、汚いやり口などを風刺する用法は見当たらない。

これに対し、中国語の“伎倆”の意味は逆の方向に偏っていると言える。中国語辞書での“伎倆”は主に1. 技能、本領、2. 正当でない手段、小細工、という二つの意味があるが、コーパスの検索結果では、1の意味で使用される例文は一つも見当たらず、733例全て2の意味で用いられている。3例を挙げる。

22. 另一方面则借以玩弄利诱威胁的阴谋诡计，对党外“议员”进行分化、离间及各个击破的伎倆，以瓦解党外“议员”的集体行动。（また別の面では、利や脅しによる陰謀策略を巡らし、党外「議員」を分断、仲違いさせたり、一人ずつ落としたりする手段で、党外「議員」の集団行動の結束を崩す。）
23. 这是蒋介石的惯用伎倆，先当刽子手，后充慈善家，

一纸电文，把杀人的责任推给了别人。（人を殺しておきながら善人ぶるのは蒋介石の常套手段である。彼は一通の電報文で、殺人の責任を他人に押しつけたのである。）

24. 造假者的惯用伎倆是盗用国家批准的音像出版单位的名称和版号。（偽物を作る人の常套手段は国家許可のある出版社の名前と出版番号を騙ることである。）

例文で示したとおり、中国語の“伎倆”は話し手がその人のやり方が不誠実であり、卑怯であるという批判を下すことを明白に示しており、強いマイナスのイメージを持っている。

もし、「技能」という語を中立的な基準とすれば、日本語の「技量」の持つイメージはそれよりややプラスのほうの「本領」、「腕前」、それも大体それを褒める方向に近く、逆に中国語の“伎倆”はそれよりマイナスのほうの「小細工」、「卑怯なやり方」に近いと言えよう。同じ「技能」であっても、「持ち合わせるよい技能」と「悪事を働く技能」という大きなニュアンスの違いがあり、それが喚情価値の差異となっている。

4. 相反する意味を持つ語の異なる意味項目の使用頻度の差による喚情価値の差異

日中どちらもプラスとマイナスという相反する意味項目を持つ語において、その意味の使用頻度の高い意味項目のほうが語の全体的な喚情価値を左右することが多い。日中同形語について、両方とも似たような相反する意味項目があっても、使用頻度の差により、喚情価値が逆になる例もある。

4. 1 可憐

「可憐」がその例の一つである。「可憐」について日本語の辞書での解釈をまとめ、分析すると、その意味は1. いじらしさや弱者に対する同情や憐れみ、2. 愛らしい、かわいい様子、の二つに分けられる。コーパスで検索した結果、「可憐」という語を含む例文が345あり、そのうち、334例の中での「可憐」が2の意味で使用されていることが判明した。以下3例を挙げる。

25. …お母さんは石ころだらけの地面に生えた、可憐な花を見つけて…
26. …彼女は、どこか人懐っこい可憐さを感じさせて…
27. 朝もやがやわらかく原野の木々の梢、草むらからたちのぼりはじめ、小鳥が可憐な声でなきはじめる。「可憐」で形容する対象の内訳については、前文で言

及した「可憐」がいとしく、かわいい様子の意味を持つ334の例文のうち、その形容の対象について、142例が花や草、106例が女性、他にもアクセサリなどの小物、人体の部位、小動物、子供、歌声や名前、香りなどが散見する。いずれも、これらのものに対し、愛らしい、かわいいと思う感情の表れとして、プラスのイメージを持っている。

それに対し、「可憐」のもう1つの意味「1. いじらしさや弱者に対する同情や憐れみ」、に関する例文はわずか11例しかなく、明らかに少数である。以下1例を挙げる。

28. …可憐な教室教員に無理強いして、研究教員の恰好をとらせるから、至るところに喜劇が生じる。

この意味での「可憐」は同情や憐れみだと言っても、いじらしさや時に皮肉を含め、軽い程度で、少しかわいそうというニュアンスで使われていることが分かる。

このように、日本語の「可憐」は1. いじらしさや弱者に対する同情や憐れみ、2. 愛らしい、かわいい様子、という二つの意味があり、使用頻度から見れば、後者が明らかに優勢であり、「可憐」は主にプラスのイメージを持っている。

一方中国語の“可怜”は辞書では主に1. かわいそうで憐れむべきもの、またはそれを同情すること2. 物の数が余りにも少ない、または質が余りにも悪いので、取るに足らない、という二つの意味に分けられると言える。

実際の用例を見てみると、コーパスにおいて“可怜”に関する例文9677から、500例を取り出し分析した結果、490例が1の意味で使われていることが判明した。3例を挙げる。

31. 父母去打工的孩子绝大部分很可怜。(両親が出稼ぎに行った子供たちの多くはかわいそうである。)

32. 我那天在看守所见李小月的时候，正赶上他的老家南平公安局的警方来提审她，她可怜巴巴地问他们她的女儿可好？(私はあの日看守所で李小月に会った時、彼女の故郷南平公安局の刑事が来て彼女に尋問する場面にちょうど出くわした。李小月は可哀想に思うほど必死で、彼女の娘は元気かどうかを彼らに聞いた。)

33. 一个断了胳膊的小孩可怜兮兮地跪在那里，脸上毫无表情，口中木讷地重复着一句话：“叔叔阿姨，可怜可怜我吧！叔叔阿姨，可怜可怜我吧！”(一人の腕が折れた子供が、哀れみを乞うようにそこに跪いていた。その子供の顔には何の表情もなく、次の言葉を繰り返し言うだけだった。『おじさん、おばさん、私を哀れんで。おじさん、おばさん、私を哀れんで。』) “可怜”の形容する対象は、主に人であり、女性や子供、

貧困や体の不自由な人などの弱者である。また、同じ同情や憐れみであっても、中国語“可怜”のほうの方が明らかに感情の程度が深いし、マイナスのイメージが強い。

もう一つの意味2. 物の数が余りにも少ないに関する例文は42例ある。この意味で用いられる“可怜”もマイナスのイメージが強いと言っていいだろう。

中国語の“可怜”には、辞書には(《中辞林》)にしか載っていないが、もう一つの意味があり、例文を分析すると、物事や人に対し、その愛らしく、かわいい様子を形容する意味であり、日本語の「可憐」の2の意味と大分似ている。6例あって、その一例を挙げる。

34. 杜甫《又于韦处乞大邑瓷碗》中说：“大邑烧瓷轻且坚，扣如哀玉锦城传。君家白碗胜霜雪，急送茅斋也可怜。”(杜甫は《又于韦处乞大邑瓷碗》において、「大邑の磁器は軽くて固く、叩いたら玉の叩かれたような悲しき音を発し、錦城に広がる。君の作った白磁の茶碗は霜雪にも勝り、急ぎにわがぼろ屋に送られてもかわいらしく感じる」と言っていた。)

ここでの“可怜”は白磁の茶碗のかわいらしさを形容している。《大唐新語》の中での一句“今年春色胜常年，此夜风光正可怜”(今年の春の景色は例年に勝る、今夜の景色は正に美しい)の中での“可怜”は「きれいで、いとしい」と解す。このように古代漢語の中での“可怜”はこの意味が多く使われている。また成語にも女性の愛らしい様子を表す“楚楚可怜”があるように、“可怜”のその意味が残っている。しかし、現代漢語の中で、この意味で“可怜”が使われることは極めてすくない。コーパスの中での例文も6例しか見当たらず、古代漢語風の文学作品や詩でしか使用されていない。これは、古代漢語の“可怜”は「愛らしい」と「かわいそう」の両方の意味があり、現代漢語に移り変わる際に後者の意味がだんだん強くなり、前者が薄れて行き、日本ではこの語が入った以降は全く逆な変化の過程を経てきたのではないかと筆者は思う。

このように、現代中国語の“可怜”については1. かわいそうで憐れむべきもの、またはそれを同情すること、2. 物の数が余りにも少ない、または質が余りにも悪いので、取るに足らない、という二つの意味の使用頻度が高く、従って、主にマイナスのイメージを持つようになっている。

「可憐」は日中ともに「愛らしい」と「憐れみ」の意味を持っていながら、使用頻度の差から、日本語の「可憐」が前者の方に傾き、プラスのイメージを持っているのに対し、中国語の“可怜”は後者の方に偏り、逆にマイナスのイメージを持つようになっている。

4. 2 風流

風流の例もかなり典型的であるので、少し詳しく分析する。「風流」の日本語の辞書での意味をまとめると、主に1. 風雅で上品な趣があること、2. 世俗を離れて、書画、詩歌、茶の湯などの雅趣に親しむこと、また、その境地、という2つであり、コーパス検索の結果では、「先人の残した美の遺風」、「美しく飾ること」、また「日本文芸の1つ」などの意味でも使われている。その内訳として、285の例文のうち、120例が1の「風雅で上品な趣があること」の意味で使われている。以下3例を挙げる。

35. 唐渡りの東京錦の縁どりをした茵に琴のことが優雅に置かれていて、風流な火桶に侍従香と衣被香の匂っているのは、ゆかしく思われる。
36. 自ら茶道具を背負い、京の町を歩いて、各所で煎茶の店を開いた。風流ぶりが人気を呼び、売茶翁の名もそれに由来する。
37. これが風流になると、「わび」「さび」になってまったく逆の概念になるのですが、風流といえば、意匠をこらした華やかさがある。

また、56例が2の意味で用いられている。他に、「先人の残した美の遺風」の意味を表す例文が2例、「美しく飾ること」が6例、「日本文芸の1つ」が46例ある。「風流」という語は日本の伝統文化のひとつの象徴的なイメージ1つでもあると言える。以上のどの意味で使用されても、物事や人の性格や行為などが優雅で、美しいことを形容するということが共通しており、プラスのイメージを持っている。

一方、中国語の“风流”のイメージは辞書での解釈でも一目瞭然である。中国語の辞書での意味をまとめると、中国語の“风流”は主に1. 秀でた文才と学識があり、功績を立てた優秀な人物、2. 男女関係において、慎みがなく、淫乱である、という2つの意味に要約することができる。

コーパスにおいて、“风流”に関する2555の例文のうち、550例を取り出し、分析した結果、前者の意味で使われるのは167例あるが、使い方は少し古く、用例は基本的には古代の作品や古代漢語風の作品に集中しており、現代の作品においてもほとんど歴史上の人物に対する評価にしか使われていない。形容する対象は君主、学士、儒者、才子などである。また、風雅なものとそれに耽る生活態度を形容する用例も91例あるが、日本語の「風流」の1と2の意味と比べ、優雅という点においては日本語の「風流」と似ていて、プラスのイメージが強いと言える。

その反面、2. 男女関係において、慎みがなく、淫乱である、という意味で使われる場合は話し手のその人物

に対する負の評価がはっきり現れるので、マイナスのイメージが強い。234の例文のうち3例を挙げる。

38. 且说达启与那姑娘,一夜的风流缱绻,怎舍得离开?(達啓とあの子のことについてだが、熱い一晚をともに過ごした後、離れるのが惜しくないわけがなからう?)
39. 1980年, 查尔斯和另一位叫安娜·沃尔斯的女人也有过一段风流的韵事,后来告吹了。(1980年に、チャールズはアンナ・ウォールズというもう一人の女性とも一時の色事があったが、その後二人は別れた。)
40. 见她这么腼腆, 周正更加感到这小妇人不是那种风流放荡的女人。(彼女のそのようなはにかんでいる様子を見て、周正はこの若い婦人がその種の慎みのない女性ではないことをもっと感じた。)

古代中国の“风流才子”(風流の士)と呼ばれていた人の中では書画、詩歌、楽器が得意であるのをいいことに、妓楼の才女に目をかけられる(あるいは自分で才女の目を引き付ける)人も多いので、“风流”という語は自然に男女間の恋愛感情と結び付いている。古代漢語において、この意味で使われてもそれほど強いマイナスのイメージを持っていなかったが、社会の風俗が変化し、今では“风流”は主に男女関係において不謹慎で、淫乱であるという意味で使われ、負のイメージが強くなった。日本語の「風流」も、男女関係の面で使用されることはあるが(「コーパス」において3例ある)、頻度においても、負の評価の強さにおいても、現代中国語の“风流”には遠く及ばない。

このイメージの違いはその語を含む四字熟語(中国語では“成语”という)にも現れ、同じ「風流韻事」でも、日本語の「風流韻事」は自然に親しみ、詩歌を作って楽しむことを指すのに対し、中国語の“风流韵事”は色事、またその人の恋愛史を指す。この語も“风流”同じようにマイナスのイメージを持っている。

「風流」について、日中ともに「風雅」、「上品」の意味と男女関係において不謹慎であるという意味を持つにも関わらず、日本語の「風流」は前者に偏り、伝統文化の一つの象徴となるまでにプラスのイメージを持っているのに対し、中国語の“风流”は後者の意味が強くなり、マイナスのイメージを持つようになったのである。

5. おわりに

日中同形語は意味上の違いだけでなく、喚情価値の相違についても十分に注意を払うべきだろう。日中同形語において、日本語ではプラス、中国語ではマイナスのイメージを持つ日中同形語があり、その差異がその語の意

味項目からみると、形容の対象によるものもあれば、ニュアンスの偏りによるものもあり、相反する意味を持つ語については、意味項目の使用頻度の差によるものもある。

日中同形語を学習する、教える、訳す際に、語彙の意味や文法機能の差異のほかに、喚情価値の差異も重要な点の一つとして留意すれば、語意をもっと的確に把握することができるだろう。

本稿は日本語においてはプラス、中国語においてはマイナスのイメージを持つ日中同形語について分析したが、その他に日本語においてはマイナス、中国語においてはプラスのイメージを持つ日中同形語もあれば、一方が強い感情的なイメージを持つのに対し、もう一方が中立的なイメージを持つ語もある。また、本稿では喚情価値の差異をもたらす要素として、形容の対象とニュアンス、そして相反する意味項目の使用頻度の差という三つを挙げたが、その他の要素についての分析は今後の課題にしたいと考える。

参考文献：

1. 大河内康憲 1992. 1.31「日本語と中国語の同形語」『日本語と中国語の対象研究論文集（下）』くろしろ出版
2. 何龍 2015「日中同形語の持つイメージ—『感染』を例として」『愛知淑徳大学院論文集』グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 第7号 pp. 57-71
3. 金若静1987. 2.10 <同じ漢字でもこれだけ違う日本語と中国語> 学生社
4. 胡春艶 2012「日中同形詞的“感情色彩”探析」『语文学刊』第6号
5. 張金艶・谷守正寛 (2013)「中国人日本語学習者による日中同形語の誤用について」『鳥取大学教育研究論集』第3号pp. 59-67
6. 濱田美和・高島智美・楊峰 2013「中国人学習者向け漢字教材の開発—日中同形の漢語形容詞」『日本語教育方法研究会誌』第19号
7. 濱田美和・高島智美・楊峰 2011「日中同形語の意味理解を目的とした中国人学習者向け漢字教材の開発」『ICJLE2011 世界日本語教育研究大会 予稿集』下
8. 文化庁 1978「中国語と対応する漢語」『早稲田大学語学教育研究所日本語科』

A Study into the Differences Between Japanese and Chinese Homographs' Emotive Meanings

Focusing on words that have positive meanings in Japanese and negative meanings in Chinese

Jiehui Zhang

Differences between Japanese and Chinese homographs have long been a topic of contrastive linguistic research into the two languages. However, studies into differences between their emotive meanings are still not easy to find.

This thesis will focus on three elements that may influence the emotive meaning of Japanese and Chinese homographs: differences in the objects that the word describes, differences in nuance, and for words with opposing meanings, the frequency with which each definition is used. These factors will be analyzed by comparing the meanings of example words in three dictionaries against how they appear in corpuses. This thesis focuses on words that have positive meanings in Japanese and negative meanings in Chinese.